

# (特非)福島県防災士会 会報

特定非営利活動法人 福島県防災士会 事務局発行 2024.10.08 №024

## 令和6(2024)年度 通常総会開催

8月4日(日)二本松市にある福島県男女共生センター4階の研修室において、令和6年度通常総会を開催いたしました。開催にあたり滝田理事長からは、新年度の活動や活動予算を決める大切な総会であること。また、能登半島地震で被害に遭われた方へのお見舞いの言葉や線状降水帯などによる大雨・洪水被害が増えていること、それらの大規模災害が福島県内でも起きうること。これらに対しての会員相互の協力・連携が必要なことなどのご挨拶をいただきました。

その後、滝田理事長を議長として、議事録署名人を関根監事と鈴木(里)理事と決定しました。ご来賓の日本防災士会 理事長の室崎益輝様より祝辞をいただきました。祝辞では、本部の活動状況やいろいろな防災士の方々が集まって防災士会を形成しているが、『ワンチーム』で災害対応などの活動に取り組もうとお話しされました。

議事に入る前に定足数の確認を行いました。会場出席14名(遅刻者1名により途中から15名)、欠席者61名で賛成48票、委任票13票、無回答54名(遅刻者の出席により途中から53名)になっていることと定款に定めている総会定足数を満たしていることが報告されました。合わせて滝田理事長からは、「委任票は賛成票に投じた。」と報告されました。

各議事の評決結果は、次の通りです。

第1号議案:令和5年度事業活動実績報告【賛成:74票、反対0票、保留1票】

第2号議案:令和5年度活動決算書報告、会計監査及び監査報告【賛成:74票、反対0票、保留1票】

第3号議案:令和6年度事業活動計画(案)【賛成:75票、反対0票、保留1票】

第4号議案:令和6年度活動予算(案)【賛成:75票、反対0票、保留1票】

第5号議案:定款変更(案)【賛成:75票、反対0票、保留1票】

第6号議案:規定変更報告(採決事項ではございません。

なお反対意見等はございませんでした。)

総会の評決においては、慎重審議ぎご協力いただきましてありがとうございました。感謝申し上げます。前年度の反省を活かして、新年度の活動を推進してまいります。また、書面にて頂きましたご意見等については、今後の理事会において対応策等を検討し、対応できるように進めてまいります。今年度は、各地での防災訓練や防災イベントなど各地から参加依頼が届いております。適宜、各方部会を通じてご案内したいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。



開会の挨拶をする滝田理事長

## 日本防災士会会員の活動理念

- 日本防災士会会員(以下「会員」という)は、地区防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与することを活動の基本理念とする。
- 会員は、地区の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策等、地区防災活動計画の策定・実施に関し、指導的役割を果たすものとする。  
そのために、次の事項に積極的に取り組むものとする。
  - 会員相互のネットワークを構築し、協力関係を確立する。
  - 地区防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研さんに努めること。
  - 自治体と緊密な連携を図ること。

## 日本防災士会 室崎理事長による講演

8月4日に開催された通常総会後に、日本防災士会 理事長 室崎益輝様による研修会として、『災害時代におけるコミュニティ防災』と題してご講演をいただきました。災害の時代と減災の社会では、感染症や社会の脆弱性、想定外の災害が発生していることから、減災への対応の重要性とコミュニティでの果たす防災に関する役割の必要性。そのためには、共助・互助の大切さと重要性について理解し、減災のサイクルに応じた、新しいコミュニティ防災の進化が求められている。

そして、地区防災計画で私的な取組みを公的な取組へ変える。作成した計画をPDCAでステップアップする。そのために防災士が幅広い知識、経験、能力を活かしてコミュニティにおいて重要な役割を果たし、率先者、つなぎ手、専門家として、他の組織との連携、個々の能力を高め、行政や地域での役割を生み出すなど、一人ひとりの能力向上や連携・協働を進めるために、その推進力として防災士会が欠かせないにご講演されました。遠いところご出張いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。



講演中の室崎理事長

## 会津方部会 勉強会開催について

去る6月2日(日)会津若松市立南公民館において、会津方部の勉強会を開催いたしました。当日は5名の会員が集まり、藁谷理事より、地区防災計画についての講義をいただきました。

これまでに、地区防災計画の推進で地元の自主防災組織等を担当したことがある方も、全く経験のなかった方にも、分かり易く、他の地区での活動事例や参考資料を混ぜて研修が行われました。今後もいろいろなテーマで勉強会を企画して、会員サービスの向上に向けて推進して行けるようにいたします。



地区防災計画勉強会の様子

## いわき市立内郷公民館 内郷ジュニア体験教室



大雨・洪水の対応について講演する藁谷理事

6月16日(日)にいわき市立内郷公民館において、内郷ジュニア体験教室～大雨や洪水に準備できること～と題して開催されました。講師は藁谷理事が担当して、内郷地区の親子15組と中学生を合わせて42名に大雨や洪水時の備えの話と、防災グッズ作成体験としてビニールベストと新聞紙スリッパ作成を行い、ペットボトルランタン、ペットボトルを使った防災グッズの説明を行いました。小学生は1年生から中学2年生まで、そして父兄の皆さんも真剣に取り組んでいました。

会員の皆様へ：会員様各個人で活動したり、地域や地区で行われる行事に参加したときは、その行事名や内容と写真を添えて理事長へ連絡するか、事務所にFAX(0246-26-8896)して下さい。Eメールの場合は、藁谷理事宛 [t\\_waragai\\_bousaisi\\_19617@yahoo.co.jp](mailto:t_waragai_bousaisi_19617@yahoo.co.jp) へ直接送ってください。皆様の活動状況を記録し、会員の方に知っていただくチャンスです。ご連絡をお待ちしております。

## 令和6年度 会津若松市防災訓練へ出展

8月25日(日)に令和6年度会津若松市防災訓練が、会津若松市立第六中学校において開催されました。会津方部会では、マイ避難講座と防災グッズ作成体験を行いました。マイ避難講座では、鈴木(里)理事と佐藤(明)会員が講師となり、福島県が作成した『マイ避難ノート』を使いマイ・タイムラインを実施いたしました。防災グッズ作成体験では、ビニール袋ベストや新聞紙スリッパの作成を行いました。他に簡単に出来る防災グッズの展示なども行いました。こちらの説明には白井会員と大山会員が活躍しました。



マイ避難の説明の様子



簡単に作れる防災グッズの展示

## 『防災フェスティバルinしらかわ』に参加して

9月22日(日)白河青年会議所主催の『防災フェスティバルinしらかわ』が、白河駅イベント広場と白河市立図書館で開催されました。当日は、図書館内の会議室で防災グッズ作成体験として、ビニール袋ベストと新聞紙スリッパを行いました。小学生やそのご家族を中心にたくさん御出でいただき、防災グッズ作成の体験を行っていただきました。参加者は後列左から、小針会員、長岡理事、三浦会員、前列左から、鈴木(ひ)理事、柳田会員、藁谷理事の6名でした。お疲れ様でした。



新聞紙スリッパを作成している様子



参加したメンバー

## 令和6年度 桑折町地域防災訓練

9月29日(日)桑折町立醸芳中学校において、令和6年度桑折町の地域防災訓練が開催されました。福島県防災士会は、避難所設営訓練の指導及びブース展示として、これまでの活動をまとめたパネル展示を行い、活動のPRを行いました。

避難所設営訓練では、参加された町民の皆さんと一緒に簡易テントを組立を行うなどの設置の対応をいたしました。今後も、積極的に訓練に参加して行きたいと思います。

参加者は、左から大槻顧問、鈴木(ひ)理事、小針会員、長岡理事



避難所設営訓練指導の様子



参加したメンバー